

令和3年度北海道高等学校文化連盟上川支部書道展・研究大会開催要項

主催 北海道高等学校文化連盟上川支部
 主管 北海道高等学校文化連盟上川支部書道専門部
 当番校 北海道旭川東高等学校

- 1 テーマ 『再起動 ～己の書を貫け～』
 2 期日 令和3年8月25日(水)～8月27日(金)

- 3 会場 書道展・研究交流会 旭川市民文化会館 展示室・大会議室
 席書会 北海道旭川東高等学校 体育館

- 4 日程
 第1日 8月25日(水) 旭川市民文化会館展示室

9:00		12:00	13:00	16:00
受付 顧問会議	会場作成 ※各校顧問・当番校・次年度当番校 が展示する	昼食	審査	

- 第2日 8月26日(木) 北海道旭川東高等学校体育館・旭川市民文化会館展示室

9:10	9:30	9:45	11:45	12:00	13:00	15:00
A 顧問会議 班長会議 ※席書準備	班会議	席書会 (臨書研究) 旭川東高校体育館	講評	片付け 昼食 移動 ※自由鑑賞	合評会・自由鑑賞 文化会館展示室	

9:10	9:30	9:45	12:00	13:00	15:00	15:15
B 顧問会議 班長会議 ※自由鑑賞	班会議	合評会・自由鑑賞 文化会館展示室	昼食 移動 ※席書準備	席書会 (臨書研究) 旭川東高校体育館	講評	後片 付け

- 第3日 8月27日(金) 旭川市民文化会館展示室・大会議室

9:10	9:30	12:00	13:00	14:00	15:00
顧問会議 ※準備	研究交流会 A展示室・B大会議室	昼食	作品鑑賞 写真交流会	作品撤去 片付け	

- 5 参加資格 北海道高等学校文化連盟に加盟している学校の生徒であること。

- 6 参加料・出品料

○出品料 半切・胴切 … ￥1,000
 全紙 … ￥1,500

8月4日(水)までに下記口座へ振り込んでください。

旭川信用金庫	本店	店番号	001
普通預金	口座番号	1414664	
口座名	北海道高等学校文化連盟会計 小林為五郎		

7 参加申込

- (1) 申込期限 8月4日(水)
- (2) 申込方法 別記様式による大会参加申込書(出品申込書)に記入の上
メール、FAX、郵送で送付すること。
原本は後日送付するか、当日持参すること。
- (3) 申込先 〒070-0063 旭川市6条通1-1丁目
北海道旭川東高等学校 佐藤 淳司 宛
TEL 0166-23-6318 FAX 0166-23-2623
当番校事務局メールアドレス: sato415914@hokkaido-c.ed.jp

当番校業務軽減のため、メールでの申し込みにご協力ください。

申込書は本校ホームページからダウンロードできますのでご活用願います。

旭川東高等学校ホームページ <http://www.ah.hokkaido-c.ed.jp/> (7月中旬ごろ掲載)

①参加申込書 ②出品票 ③校名表示(作品の裏面) ④自己紹介カード

(4) 記入についての注意

- ・学年順に記入すること(3年→2年→1年)
- ・「臨書」「創作」および「半切」「胴切」「全紙」は、該当するものに○印をつける。
- ・26日、27日の参加する日に○印をつける。
- ・26日の席書会に参加する生徒が当日書く予定の古典の記号を記入する。
- ・「班長」の欄は、各校1名ないし、2名を選出し○印をつける。
- ・生徒の組み合わせ等で配慮が必要な場合は、備考欄にその旨を記入する。

8 作品規格

- (1) 全紙・半切・胴切(縦作品のみ)
- (2) 出品は一人2点までとする。ただし、2点出品する場合は創作を含む。
- (3) 出品は一人全紙面積までとする。
- (4) 各高校の出品面積は(半切×2.0×人数)程度とすること。
- (5) 台紙表装とする。天地15cmの台紙をつける。
- (6) 台紙左上に出品票を添付する。
(8月25日に配布する要項の「作品番号」は、展示の際にクリップで作品右上につける。)

9 作品搬入と搬出

- (1) 作品は当日に搬入する。
- (2) 搬出は、最終日に作品撤去とともに行う。

10 大会参加にあたっての留意事項

- (1) 感染拡大防止のため、**資料1** 大会参加にあたっての留意事項 を遵守すること。
- (2) 各顧問が参加生徒の健康状況を把握し、「健康調査シート」を各日程ごとに用紙を提出する。

11 大会内容

- * 密を避けるため、参加校を部員数に基づいて学校ごと半分にわけ、Aチーム・Bチームとする。
- * Aチーム・Bチームそれぞれの中で班を編成する。
- * 班の編成について
 - (1) 1班10人を原則とする。(全体で24班程度を予定)
 - (2) 班には班長及び副班長をおく。班長は班をまとめ副班長は班長を補佐する。
班長・副班長は当番校で担当する。
 - (3) 各班に担当顧問をおく。顧問はオブザーバーに徹し生徒の動きを支援する。
(顧問が複数の学校は、2名以上の参加が望ましい。)

《1日目》<旭川市民文化会館展示室>

(1) 作品展示

- ①各校顧問・当番校、次年度当番校が作品を展示する。
- ②胴切り作品は、胴切り作品で上下二段掛けを基本とする。

《2日目》

*席書会 <旭川東高等学校体育館>

- ①体育館横の入り口を利用して下さい。
- ②駐輪場は別紙のとおり。(同窓会館・五本松資料館横を予定)
- ③靴は活動場所まで持って行くこと。(靴袋持参)
- ④更衣場所=女子(格技場)、男子(体育館の男子更衣室)
- ⑤筆、墨池を洗う場所がないので、各自が工夫して処理を行うこと。

(1) 席書会(臨書研究)

- ①班ごとに「臨書」する。班員各自が書き進めている古典を持ち寄ること。
- ②担当顧問は班長を中心として活動できるように支援する。
- ③活動した中で講評時に、良い作品を教員がピックアップして紹介する。

詳細は、資料2参照

(3) 班会議・合評会

- ①班ごとに実施する。
- ②班長が進行し、活発に意見交換ができるよう合評を行う。
- ③担当顧問は、生徒主導の班会議がスムーズに行われるように支援する。

(4) 自由鑑賞

- ①自由鑑賞時には参加者が各自で作品鑑賞を行う。
 - ②作品鑑賞カードには指定の作品2点と自由に選んだ作品の感想を記入し、作品下に添付している封筒に入れる。
 - ③全作品で生徒が良いと思う作品ベスト3を臨書・創作でそれぞれ選び、投票箱に入れる。
(投票は2日目の自由鑑賞終了時まで。投票上位者は、3日目の昼食前に口頭で発表)
- ※作品鑑賞カード・投票用紙は、プログラムと共に配布予定

《3日目》<旭川市民文化会館展示室・大会議室>

(1) 研究交流会(行灯創作による班内交流)

詳細は、資料3参照

(2) 作品鑑賞・写真交流会

- ①昼食時に小ホール前階段に行灯を並べておく。
- ②昼食後、班長が班の行灯にライトを点灯する。
- ③全班

(3) 作品撤去

- ・各校で作品を撤去する。(Aチーム撤去・退出後、Bチーム撤去)
- ・全道出品作品を出品一覧表の順に重ねて当番校に提出すること。
(「校名表示」を作品を丸めた上部に貼り付けること)

12 審査・表彰

- (1) 大会初日の日程終了後、「審査要領」に則り審査を行う。
- (2) 優秀な作品に「特選」「秀作」「佳作」の各賞を与える。

13 全道大会出品と参加について

- (1) 「特選」の作品の中で全道大会出品選び、参加を認める。
- (2) 出品作品は、閉会式終了後当番校の担当者まで届けること。

14 生徒の持ち物

《2日目》

- (1) 書道道具・・・筆、画仙紙、毛氈（全紙サイズまで）、文鎮、墨池、反故紙
臨書する古典、雑巾
 - (2) 席書にふさわしい服装
 - (3) 上靴（靴袋）
 - (4) 筆記用具
 - (5) 自己紹介カード（班員分のカードをコピーして持参すること）
 - (6) 名札…名刺サイズ、各校独自のものを作成する
 - (7) 昼食・消毒スプレー・除菌シート
- 【当番校が用意するもの】→墨液、予備の画仙紙

《3日目》

- (1) 筆…普段、臨書で使用している物でよい。（小筆は任意で持参）
 - (2) 色付きのペン・折り紙など…行灯の装飾をする際に使いたい者は任意で持参。
 - (3) 筆記用具
 - (4) のり…行灯の装飾を貼り付けるために使用
 - (5) 自己紹介カード（班員のカード）
 - (6) 名札…名刺サイズ、各校独自のものを作成する
 - (7) 新聞1日分・雑巾
 - (8) 昼食・消毒スプレー・除菌シート
- 【当番校が用意】・行灯の骨組み（割り箸）
- ・半紙…1／2カットしたもの 1人につき計4枚ずつ
 - ・墨…普段、臨書で使用する物と同様の物を各班1個ずつ
 - ・両面テープ…行灯を割り箸に止めるもの。各班1個
 - ・飾り…和紙、折り紙等で行灯を装飾する。
 - ・麻紐… cmにカットしたもの 1人1本（行灯1個に2本使用）
（LEDライト）

詳細は、資料3参照

資料1 大会参加に当たっての留意事項

現在の情勢を鑑み、参加する生徒及び顧問以外の入場を極力制限して実施します。

本大会への参加に関わっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、参加者に次の事項についてのご協力をお願いします。

○ 参加者が遵守すべき事項

- (1) 参加前2週間において以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事
（大会当日に書面で確認、提出を求めます。・・・別紙）。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) マスクを必ず着用すること。
- (3) 会場に入る時には、必ずアルコール等による手指消毒を行うこと。また、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- (4) 他の参加者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- (5) 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うこと。飲食については文化会館ホールや、外（2日めのみ東高体育館も可）のみとし、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、黙食をこころがけること。飲食物やごみはすべて持ち帰ること。
- (6) 感染防止のために当番校が決めたその他の措置の遵守、当番校の指示に従うこと。
- (7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、当番校に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

資料2 第2日目の詳細

席書会

- 今大会のテーマ『再起動 ～己の書を貫け～』を踏まえて、班員同士が作品制作を通して交流できる喜びを感じながら、各自の古典の臨書を行う。
- 班長は班員と話し合い、以下のことを共通の留意点として制作する。
（留意点を記入する用紙は当番校で準備）
 - ①「制作のねらい」
どんな作品を書こうとしているか。
 - ②「具体的な注意事項」
ねらいにあった作品とするために、何に気をつければよいか。
（筆遣い・余白など）
 - ③「気づき・振り返り」
グループ内である程度共通する課題を発見し、次の作品につなげる。
- 大きく運腕してスケールの大きな作品作りを心がける。
- 優れた作品を例にとり、どういう筆遣いが必要なのか話し合い、上手な人に部分的に書いてもらうなどして、交流して書くことができる機会を十分に活用する。

資料3 第3日目の詳細

第3日目 8月27日（金） 旭川市民文化会館展示室・大会議室

研究交流会「行灯を用いた作品創作と班内交流」

- ① 班ごとに座り、班長を中心として制作する。
- ② 担当顧問は班長を中心として活動出来る様に支援する。
- ③ ゴミは各自が持ち帰る。
- ④ 作った作品を持って、班内で交流する。（持ち帰りは班内で決めてもらう）

<当番校が用意する物>

- ・行灯の骨組み（割り箸）一人
- ・半紙…1 / 2カットしたもの1人につき計4枚ずつ
- ・墨…普段、臨書で使用する物と同様の物を各班1個ずつ
- ・薄め用水（ペットボトル）…班に1本
- ・両面テープ…行灯を割り箸に止めるもの。各班1個
- ・飾り…和紙、折り紙等で行灯を装飾する。
- ・麻紐…40 cmにカットしたもの 1人2本（行灯1個に2本使用）
- （・LEDライト 行灯1個に対して1個）

<個人で用意する物>

- ・筆…普段、臨書で使用している物でよい。（小筆は任意で持参）
- ・硯（墨池など）…紙コップなども可。（こぼさないように注意）
- ・色付きのペンなど…行灯の装飾をする際に使いたい者は任意で持参。
- ・筆記用具
- ・のり…行灯の装飾を貼り付けるために使用
- ・自己紹介カード（班員のカード）
- ・名札…名刺サイズ、各校独自のものを作成する
- ・昼食・消毒スプレー・除菌シート

<手順>

- ① A,Bのグループの班ごとに行灯を作成する。
（1人1個の行灯を作る。）
 - ② 班ないしはできたグループでテーマを決めて、行灯のイメージを考える
（例：行灯は四面あるので、テーマを「四季」とし、一面ずつを担当して組み合わせてもよい）
 - ③ 予備の半紙で、イメージに合う言葉を練習する。（縦書きでも横書きでも可）
班で相談しながら作りましょう！
 - ④ 言葉を書き、空いている場所に飾りをつけるなど工夫をする。
割り箸の骨組みに両面テープで貼り付ける。
 - ⑤ 麻紐を上部にクロスになるように（×になるように）かけるとなお、丈夫で見栄えがよくなります。
 - ⑥ 完成した作品を班員と交換し、交流する。
（自分の作品の説明や他の班員の作品に対する感想を言い合ったり、記念写真を撮るなどする。）
- ※昼食後に、文化会館小ホール前階段に並べて飾り、ライトを点灯する。

【当番校生徒 作成例】四季をテーマとして作成・四面を春夏秋冬としてイメージし、季節にあう飾り付けを行っている。

